

## 山盛苑 3月全体朝礼挨拶

2021年3月1日 施設長 宮下正弘

今日から弥生3月、暦の上では春に分類される時期に入りました。季節の移り変わりを最も感じさせるのは、日が長くなったことですね。理科年表で見ますと、秋田で11月7日の午後4時15分、対して3月2日が5時32分、1時間17分遅くなっています。雪が解けて野外活動ができるのが楽しみです。

今月は新しく2名の方が仲間に加わります。後程辞令交付がありますが、介護福祉士の川越さんと石塚さんの後任になる清掃の南条さんです。みんなと一緒にこれからよろしく願いいたします。

さて、今年度最後の月になりましたので、少し今年度を振り返ってみたいと思います。

- ① 先ほど鈴木理事長からもありましたが、今年は経営的には安定していましたが、その1番は年間を通して4施設体系のうち「加算型」を算定できたことです。この体系が発表されたときはとても無理と思われたのですが、在宅復帰などの無理のない推進と事務の努力によるところが大きかったと思います。2019年4月の全国老健協会のデータでは秋田県で加算型以上は15施設です。老健が52施設ありますので、県内では上位3割に入っていることになります。
- ② 同じく施設の評価では、先日「介護サービス事業所認定評価制度」の現地審査がありました。3名の審査員とのやり取りでは、特に地域貢献や研修の取り組みに好印象を持ったようです。この評価制度の受審も県内老健ではまだ15施設位です。他人の目で見ってもらうのは組織の発展に大切なことです。結果は今月末ということなので、吉

報を待ちたいと思います。

- ③ 今年度研修委員会が初めて取り組んだ各委員会による研究も素晴らしいことでした。発表が先月から始まり、あと2回ありますが、山盛苑の歴史にとってまさに画期的なことで、前に進もうという職員に姿勢に感動しました。残り6課題の発表を楽しみにしています。今後は研究成果を県内の研究会や全国老健大会に発表してゆく事ですね。
- ④ 今年はコロナ禍で例年の感謝祭も忘年会も中止になりましたが、その分皆さんの工夫によって室内で運動会ができた、誕生会もいつものように感染対策をしたうえで、ボランティアさんの演芸を楽しむことができました。面会もシャットアウトするのではなく、窓越しや Web 面会など少しでも利用者さんに喜ばれるように工夫を凝らしました。ここまで工夫した施設はあまりないと思います。
- ⑤ 今年度は100歳の方(百寿)の方が3人誕生し、皆さんお元気だということもめでたいことです。私に来て6年目になりますが初めてですね。それだけでなく99歳(白寿)の方も3人後に続いています。室内運動会のスプーンレースでスタートを男子は100歳のSさん、女子は99歳のHさんが務めたことはその象徴ですね。
- ⑥ 法人の機能の上では、山盛苑にあった居宅介護支援事業所を廃して、うぐいす城東に一本化をしたことが挙げられます。当苑の地理的条件からやむを得ないことと考えています。

まだいろいろあると思いますが、私が思いつくままに挙げました。年度最後の月、健康に気を付けてしっかりやってゆこうではありませんか。終わります。